

かわぐち

2008. 4月号 No.414

— 今月の主な内容 —

平成20年度施政方針(要旨) … 2~5
 田麦山小学校と泉水小学校が
 長い歴史に幕…………… 6~9
 平成20年度予算のあらまし…………… 10~15
 町営バスの運行内容を変更…………… 16
 ごみの減量化にご協力を…………… 17
 今から健康づくりをしましょう… 18~19
 — ほか —



田麦山小学校閉校式・お別れ会と泉水小学校閉校式

3月22日田麦山小学校で、3月23日泉水小学校で、それぞれ閉校式が行われました。

両校の児童たちは一人ひとりがたくさんの思い出を語りながら、お世話になった学校へ「ありがとう」、「忘れません」と、感謝やお別れを告げ、参列者からは感動にたくさんの涙がこぼれました。

かわぐち いきいきびと

中山ふるさと夢づくりの会

ふるさと夢づくりの会は、平成13年9月に発足。現在のメンバーは11人です。自分たちの住む中山地区を、そこに住む人たちで、誇りと将来に夢を持つような地域にできればと立ち上げました。

活動の中で掲げた、地域づくりの夢(目標)「世代を越えてみんながひとつに!力をあわせていきいき中山」の実現に向かって、地区の中心にある旧スキー場(さんご山)跡地の活用を図ろうと手づくりで山頂への遊歩道整備や花畑づくりに取り組んでいます。



自分たちの夢が1歩ずつ目に見える形に
渡辺 清作

ふるさと夢づくりの会は、平成13年秋に設立されました。当初は、地域づくりアドバイザーの指導をいただきながら、スタッフや地域住民と一緒にいろいろな意見を出し合って計画づくりをしてきました。その計画を基に、さんご山の「手づくり遊歩道の整備」や「遊歩道を活用したイベント」などいくつかの事業に取り組みましたが、中越大震災の被害を受け、1年くらい活動休止になってしまいました。

平成18年に、再度計画を練り直し、遊歩道の途中にコスモス畑を作りました。19年には、コスモスの他にサツマイモも植え、花の咲く頃「秋まつり」を開催、子どもたちや地域の人たちと自然の素晴らしさやさつまいもの収穫の喜びを味わうことができました。自然の中で子どもたちの喜ぶ笑顔は、スタッフのこれからの活力、励みになるものでした。

さんご山は、春には山一面にピンク色のうつぎの花が咲き、松の緑と見栄えがするばかりです。また頂上からの見晴らし、360度の景観は素晴らしいものです。スタッフや地域の人たちのボランティア活動で、自分たちの夢が1歩ずつ目に見える形になってきました。今年、新たに頂上から見える周囲の山々の名前を掲示したいと準備しています。皆様もぜひ一度さんご山へ登ってみてください。

応援サポーター

銘菓
川口あおり太鼓
いおの
川口小唄

御菓子司
龍昇堂

TEL 0258-89-2039 FAX 0258-89-2312
北魚沼郡川口町大字川口 1954-3

TOSHIBA 東芝照明プレジジョン株式会社
Leading Innovation>>> 新潟事業所

当事業所の製品は、
液晶テレビ、携帯電話、照明ランプの部品として
皆様のご家庭だけでなく、広く世界中で活躍しています。

〒949-7504
北魚沼郡川口町大字川口字前島1979
TEL 0258-89-2360(代)
FAX 0258-89-3236
ホームページ <http://www.toshiba-tosp.co.jp>

○広報かわぐちの広告の規格など

規格 枠サイズ 縦45mm×横84mm
刷り色 黒

掲載期間 1号単位で、最長12号連続掲載できます。(なお、
広告枠に空きがある場合は、更新できます。)

掲載料 1号 5,000円以上

掲載枠数 最大4枠

申込締切 毎月15日

問い合わせ 総務課 ☎89-3111

活力あふれる川口町を築くために

平成20年度施政方針（要旨）



就任時、一般会計では最大89億5100万円が想定された町債残高が、平成19年度末で79億9800万円の見込みです。返済のピークは平成21年度から3年間が見込まれていますが、基金も10億円前後を維持することができれば、財政危機は乗り越えられるものと考えています。

これらの成果は町民各位のご理解・ご協力の賜物と改めて感謝申し上げます。

平成20年第1回川口町議会定例会の開催にあたり、私の町政運営に対する所信を申し上げますとともに、平成20年度予算案の概要についてご説明申し上げます。

はじめに

就任以来、町財政の危機的状況から脱却を図るため、町民と共に財政健全化に向け邁進してまいりました。

により選択された長岡市に合併への協議をお願いしているところですが、

しかし、合併が実現されても私たちの日常生活や、永年培ってきた川口町の風土は変わりません。地域の伝統や文化、そしてここに住むことの価値観やこだわりを自ら守り自らの手で更に大きく育てなければなりません。

20年度は災害関連の復旧事業は終え、復旧から復興への「復興元年」です。地域の再生と活力の復活、人と人との交流を通し、生業の再建のための、「活性化対策」を重点的に進めます。

通勤・通学は長岡地域広域市町村圏に集中していることから、相互の利便性を高める施策を積極的に提案して行きたいと考えております。

また、震災の体験、記憶を風化させることなく後世に伝えるため、当町と長岡市、小

千谷市の三市町では、昨年11月に「災害メモリアル拠点整備」の基本構想を公表、県並びに新潟県中越大地震復興基金に早期事業化を要請しております。

当町では、震央地に「震源パーク」、運動公園に「地震センター」と2施設を計画しておりますので、早期実現に向けて引き続き事業化を強く要請するとともに、地域の交流資源として活用を検討していく考えです。

公共土木

「川口橋の架替事業」は、平成20年度の供用開始が予定され、現在の川口橋は、平成22年度までに撤去される予定です。

「国道17号和南津トンネル」は、震災以降更に、改良の必要性を痛感し、国に働きかけを行い、調査・計画に着手する運びとなりました。

東川口地区の克雪対策や生活道路に視点をおき、進めてきた「まちづくり交付金事業」は、将来の東川口地区に何が必要かを、地域の皆さん

と十分な協議を行ったうえで、新たな事業の方向性を検討することとしております。

東川口の再生に向けた取組では、本町中心部に賑わいを創出するために、東川口震災復興委員会で活動が本格化しております。町としても必要な支援を行っていく考えです。

県事業として着手している、仮称「シンボルロード」は、国道から駅までの改築を行うもので、関係者の理解を得ながら引き続き、事業の進捗を図ることとしております。この事業とあわせて、沿道の土地利用や活性化に向けた取組が期待されます。

道路関係事業は、新規事業を抑制し、町道の維持管理に重点をおき、経費節減に努める考えです。道路、治水、砂防なども、国並びに県に対し働きかけ、町民の意向に応えていきたいと考えております。

公営住宅は、中越大地震に係る災害関連の事業が全て完成しており、入居者が安全で安心に定住できるよう、最善の努力をします。

農業土木

中越大地震による農地の災害復旧は、平成19年度で完了しました。小災害及び関連事業は、復興基金事業や地すべり対策事業などを活用しながら、作付可能面積の確保を図っております。

「むらづくり交付金事業」は、災害復旧事業等、継続中の必要最小限の事業を行い、完了する予定です。

県営事業の「農免農道整備事業」は、平成22年の供用開始に向け事業を実施いたしております。

農業振興

町の農業生産にかかる基盤づくりはほぼ整っていることから、川口町に見合った横断的な農産物の生産・加工への取組や、外に向けた販売体制づくりが必要であり、農家のプロ意識の高揚を図りながら、地域活動と一体となった取組が重要であると考えております。

特に稲作は、消費拡大に

は、「売れる米」作りを進める必要があり、魚沼コシヒカリのブランドにふさわしい高品質、良食味の生産を維持し、魚沼地域の中でも差別化して消費の拡大を図る必要があります。

そのために、町では安心・安全な特別栽培米の推進と、自然環境にやさしいエコファーマーの取得を推進し、魚沼産の中の「川口ブランド」を作り上げていくことを支援するとともに、農業生産法人の経営指導と、新たな組織の育成も推進してまいります。

園芸作物は、交流物産館「あぐりの里」での売上も順調に増加し、総売上額が年間1億3千万円を超すまでにになりましたが、さらなる農家の所得向上と、地元商業への波及効果の拡大を図るためには、地域内に生産、加工、販売、消費のシステム化を図る「農業の六次産業化」を強力に推進する必要があります。

そのため、行政組織を再編し、県・JA北魚沼と協働で、新たに産業振興を目的としたチームを編成するとともに、

地域復興支援センターや商工会、あぐりの里、温泉・ホテル等と連携して、町の気候風土にあった野菜等特産品や、農産加工品などの商品開発の促進と消費・販路の確保を図り、地域内に「人、モノ、カネ」の豊かな循環を興す「地域経済循環の仕組みづくり」を推進しながら、川口地域の経済的な自立を目指していく考えです。

さらに、将来は、これらを核とした、川口地域の窓口としての役割を担う組織への発展も視野に入れ、体制整備の検討を行ってまいります。

商工業の振興

町では、商工会や事業主と



交流人口の拡大は、その波及効果から地域経済循環の仕組みづくりを進める上で、重要な要素となります。交流人

観光・交流の復興、促進

交流人口の拡大は、その波及効果から地域経済循環の仕組みづくりを進める上で、重要な要素となります。交流人

口拡大の重要な拠点である温泉や宿泊施設、運動公園周辺施設は、ほぼ中越大地震前前の状態に戻すことができました。また、昨年は、泊江市とのふるさと友好都市提携20周年を迎え、さらなる住民レベルの交流促進が期待されるとともに、板橋区、練馬区などの新たな体験交流や、木沢地区で初めて都会の中学生の農家民泊も行われ、今年も中学生百人規模の受入れが決まっております。

今後さらなる誘客促進を図るために、ホテルと川口温泉、古民家、コテージ、交流体験館、運動公園などの施設を利用した、多様な形態の宿泊と農村体験を組み合わせた商品開発を進めるとともに、推進体制の確立、受入集落や農家の確保、体験プログラムの整備、都市と農村交流の拡大と、地域経済の活性化を推進してまいります。

未来の川口町生き残り戦略

地域住民がそこに住む「価値観」や「地域への愛着・こだわり」を持ち続けることは、川口町が合併しても「川口が川口でありつづける」ために、欠かせないことで、合併後、住民主体の地域づくりには、中核となる独立した団体の存在が必要と考えております。

独自財源と、意思決定能力を有し、地域づくりの主役と情報発信を担える、行政とは一線を画した団体を設立すべく、検討を進めてまいります。

この団体の活動イメージは、従来からある祭りやイベントを主体となって実施することや、地域活動への支援、地域コミュニティ醸成のための事業、震災復興支援者との交流の橋渡し役、地域住民同士や都市住民との交流等により、人が行き交い、ふれあい、絆が深まる「ふるさと川口」の創生のための活動を目指そうとするものです。

設立は平成21年中を目途とし、町民各位のご意見をいただきながら準備を進めてまいります。

自立した地域づくりの促進

行政の広域化とともに、自立した地域の実現が求められています。

現在、町内各集落では、震災後、ボランティアなどの支援を受けながら、地域の復興、活性化に向けて活発な取組が進められております。

これらの活動をより持続性ある活動に発展させるため、昨年、町観光協会が地域復興支援センターを開設し、専任の地域復興支援員を配置しました。また、集落や地域づくり団体などで構成する住民主体のネットワーク組織「えちご川口交流ネットワークREN」も、設置されました。

これらの組織は、集落などへの支援活動を通じて、地域の活性化と交流機会の創出の一翼を担うべく、それぞれ活動を展開しております。町としても地域づくり団体への支援体制を強化し、「自立した地域」、「住み続けられる地域」の実現に向けて鋭意取り組んでまいります。

ります。

戸籍

戸籍事務は、戸籍の電算化が本格的稼働となり、戸籍事務の効率化と窓口業務の迅速化、住民サービスの向上が図られます。

また、戸籍の電算化を契機に、自治体間での広域交付への取組に向け、関係機関及び近隣自治体と検討してまいります。

学校教育

学校教育では、学校教育環境の整備をはじめ教育活動や、学習指導等の充実に努めることが大きな責務です。

泉水小学校と田麦山小学校を、4月1日から川口小学校に統合します。統合は、学校の小規模化及び、複式学級の増加による教育力や活力の低下、子どもの社会性が育ちにくいなどの状況から、より良い教育環境への取組です。

改めて、保護者、地域住民の皆様、統合へのご理解とご協力を心からお礼を申し上げます。

また、「川口まつり」及び「雪洞火はたる祭」は、従来の行政主導から町民主体の実行委員会主導へと移行し、商工会や生産者協議会、町民有志などが中心となって企画、実施されました。今後さらに町民が主役で、自ら参加し、楽しみ、元氣、誇りの源となるように、町も積極的に支援していく考えです。

福祉・保健

住み慣れた地域で安心して子どもを産み、育て、健やかに暮らせるまちづくりを推進していくため、やさしさと思いやりのある福祉施策を展開したいと考えています。

高齢者福祉は、高齢者を総合的に支援するために認知症介護予防事業等を行い、介護予防に関わる体制を充実するとともに、要介護者は、特別養護老人ホームや民間による小規模多機能型施設等への有効利用を図り、地域ケアの充実に努めます。

障害者福祉は、障害者生活支援事業や精神保健・福祉相談などの相談業務を一層充実

し、自立支援を促進します。

また、障害者自立支援法により、利用者の負担が原則1割と増額となり、町では、負担を軽減できるように、通院、通勤にかかる交通費の補助を3分の1から2分の1に引き上げてまいります。

保育園は、延長保育、障害児保育などの充実を図り、また子育て支援センターを中心とした子育て相談、育児講座等を推進します。

保健医療は、多くの方が基本健康診査や各種健診を受診するとともに、生活習慣病の予防に着眼した、効果的な健康づくり推進事業を開催します。また、健全な食生活が営まれるよう、「食育推進計画」の策定を進め、町民の健康維持に努めます。



町営バスは、昨年7月から

導助手（ALT）を配置することとしております。

なお、障害を持つ児童、生徒に対し介助員を配置し、特別支援教育の充実を図ります。さらに、引き続き教育復興加配教員の配置と、スクールカウンセラー派遣事業の実施を県教育委員会に強く要望してまいります。

仮設住宅の撤去によるグラウンドの復旧は、雪消えと同時に行い、早期に使用できるよう準備を進めています。

生涯学習

生涯学習は、今後更に「学びの里大学」を中心に、「ふるさと川口塾」や「家庭教育学級」、「長寿塾」、「ミニコンサート」、「美術展」など、町民の主体的な活動を支援し、一層の推進を図ります。併せて、かわぐちっこクラブ事業の充実を図ります。

国指定史跡の「荒屋遺跡」は、「荒屋遺跡保存活用委員会」を設置し、文化遺産として恒久的に保存し、活用していく史跡管理計画策定に向けて、取り組む予定です。

環境

「古紙回収」や「資源物集回収」への助成及び、「生ごみ処理機購入助成」の継続実施によって、資源の有効活用を図り、循環型社会を目指します。また、ごみの減量化に向けて、処理手数料の見直しについて、現在の定額制から従量制に移行する検討会を立ち上げます。

地球温暖化対策では、町においても、環境負荷の少ないライフスタイルを心がけていくとともに、家庭でできる取組の啓発に努めます。

また、「東芝グループ150万本の森づくり」事業についても、地球環境の保全に大きな効果が期待されることから、この事業が可能となるよう積極的に働きかけます。

おわりに

昨年実施した職員の希望退職の募集を含め、1割を超え退職者が退職するため、超緊縮型予算とあわせて今後の行政運営に支障がないようの方策を講ずる必要があります。

行政改革の推進に伴い職員数が減少する中で、町民の皆様が多様なニーズに即応した施策を、総合的かつ機動的に展開できるよう、4月から町長部局を7課体制から5課体制に変更し、相互応援体制による事務事業の執行確保と、住民の生活と生業が行政組織と重なるよう、柔軟な事務執行体制とすることとしております。

今後とも、行財政改革に努め、活力あふれる川口町を築くために、町民の皆様とともに未来志向の、創造的な町政運営を行っていく所存です。

伝統ある2校の歴史に幕

最後に、これまでお寄せいただきました皆様方のご厚情とご協力に感謝申し上げます。田麦山がこれからも輝き続けることを心より願っております。

明治六年に開校し、脈々と一三四年の歴史を紡いできた田麦山小学校は、平成二十年三月三十一日をもって閉校致しました。保護者の皆様、地域の皆様のお気持ちを察すると、万感胸に迫る思いが致します。

雪まだ残る、新緑まぶしいブナ林への遠足、一年生からテント泊するふるさとキャンプ、風をきって走ったロードレース、ドラム缶風呂で星を仰ぎ見る通学合宿、自分の食べるそばは自分で打つそば打ちなど……

どの活動も地域の皆様の温かな支援のもとで、田麦山だからこそできる活動でした。子ども達以上に自分が楽しい日々を過ごさせていたいただいたことを、大変有り難く思っております。



輝いて！
田麦山小学校長 内藤 智子

地域とともに歩んだ134年

田麦山小学校



3月22日、田麦山小学校において閉校式が行われ、地域の方々が見守る中、惜しまれながらその幕を閉じました。

田麦山小学校は明治6年の創立で、卒業生総数は最後の卒業生6人を加えて約四千人。同校は、学校規模の適正化とより良い教育環境の確保のため、川口小学校と統合することになりました。

閉校式では全校児童一人ひとりが学校への感謝の思いを込めたお別れのことを述べ、会場は涙と感動に包まれました。

式の最後には内藤校長から岡村町長へ校旗が返納され、134年の歴史に幕を閉じました。

また、地域住民有志がお別れ会を企画。平成15年に「はるかなるふるさと田麦山」を作詞した当時小学6年生だった高校生や田麦山小学校児童が大合唱し、昭和45年から発行している「山の子文集」の朗読で、当時の学校の様子を紹介しました。会の最後には田麦山小学校の校歌を出席者全員で合唱、参列者がそれぞれの思いを込めた歌声は会場全体に響き渡っていました。

『田麦山小学校の思い出』

一年 小川ひなた
一月の学しゅうはつびよう会が一ばんおもい出にのこつています。はつびようするときに、すぐきんちようしました。こまのいすのせをしつぱいしたけど、たのしかったです。はつびようのあとに、やきいたこうさくをしました。へい校しきで田麦山小学校がなくなっちゃうのがかなしいです。

四年 高橋 直之
ぼくは、田麦山小学校に初めて来たときとても心配でした。でも、初めて会う人からは、すごくやさしくしてもらいました。四年たった今、閉校することになりました。「いっぱい仲よくしてもらった。いい人がこの学校にはいる。」と思っていた学校がなくなるなんて、とてもさみしい気持ちでいっぱいです。でも、四年間でおもしろい思い出がたくさんできました。

田麦山小学校思い出の写真



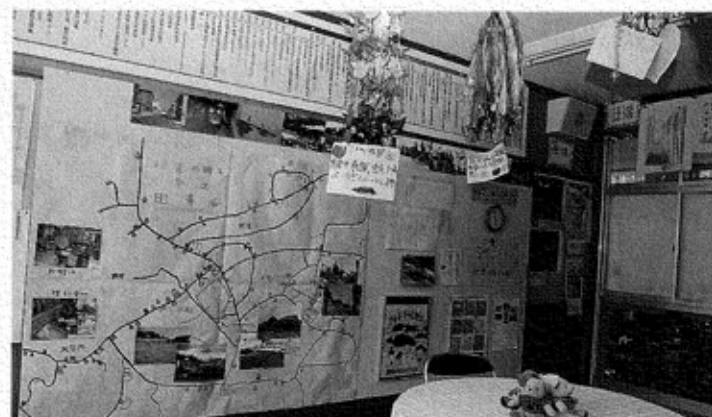
大きな雪像できました



キャンプは楽しいな



田麦山駅伝で健脚を競う



▶展示室

六年 涌井 鈴香
やはり、一番の思い出は通学合宿です。ドラム缶風呂は、他の学校ではなかなかないと思うので、田麦山小学校は特別だと思いました。だから、閉校となるとさみしいです。五・六年で、記念に残そうと展示室を閉校する前に作りました。六年間お世話になった学校なので、きれいに作りました。たくさんの人に見てもらいたいです。

田麦山小学校の沿革

- 明治6年11月15日 第六学区第六中学区第二十五番小学田麦山校開校
- 明治12年11月 第五番小学堀之内校附属田麦山校と改称
- 明治14年5月7日 第四番小学中山校附属田麦山校と改称
- 明治16年10月25日 第十二中学区乙第四番小学校田麦山校と改称
- 明治25年4月 北魚沼郡田麦山尋常小学校と改称
- 明治41年6月 北魚沼郡田麦山村田麦山尋常小学校と改称
- 昭和13年11月25日 本校及び小高分教場新築落成
- 昭和16年4月1日 田麦山村田麦山国民学校と改称
- 昭和22年4月1日 田麦山村田麦山小学校と改称
- 昭和29年4月1日 田麦山中学校開校
- 昭和29年10月25日 川口村立田麦山小学校と改称



- 山ノ相川分校新築落成
- 昭和32年8月1日 川口町立田麦山小学校と改称
- 昭和44年 山ノ相川分校独立
- 昭和45年4月1日 小高区域5・6年生本校へ
- 昭和45年7月28日 本校プール開き
- 昭和48年10月20日 創立100周年記念式典挙行
- 昭和48年10月24日 山ノ相川小学校閉校式
- 昭和51年3月27日 小高分校閉校式
- 昭和59年12月23日 新校舎・体育館竣工
- 昭和61年7月27日 子供棒踊り川口まつり初参加
- 平成元年3月14日 グラウンド拡張工事完了
- 平成8年5月16日 全校山菜採り始まる
- 平成10年1月17日 そばづくり始まる
- 平成13年1月31日 学習発表会始まる
- 平成15年6月2日 町推奨事業「通学合宿」試行
- 平成15年10月19日 創立130周年記念式典挙行
- 平成16年10月23日 中越大震災発生避難所となる
- 平成16年11月8日 学校を再開する
- 平成16年12月11日 グラウンドに建設の仮設住宅が完成し入居開始
- 平成17年5月26日 岡平仮設グラウンド完成
- 平成19年4月27日 グラウンド復旧
- 平成20年3月31日 田麦山小学校閉校

伝統ある2校の歴史に幕

地域に愛された82年

泉水小学校



3月23日、泉水小学校において地域の方々が見守る中、惜しまれながら閉校式が行われました。

泉水小学校は大正15年の創立で、卒業生総数は最後の卒業生7人を加えて2357人。同校は、学校規模の適正化とより良い教育環境の確保のため、川口小学校と統合することになりました。

閉校式では全校児童がお別れの言葉とともにお別れの歌「あなたにありがとう」を歌い、会場は涙と感動に包まれました。また、この日最後となる泉水小学校の校歌を出席者全員が、歌詞を心に刻みながら歌いました。

式の最後には中静校長から岡村町長へ校旗が返納され、82年の歴史に幕を閉じました。



式後、同校児童たちが丹精込めて作った米の「おにぎり」が児童たちによって参列者全員に一つ一つ配られ、参列者は大変感激していました。

泉水小学校思い出の写真



合唱コンクール



川口まつりで石投げ甚句を披露



雪積み競争

泉水小学校の沿革

- 大正15年3月31日 相川校・牛ヶ島校を統合して泉水尋常小学校創立
- 大正15年5月10日 校舎竣工式、創立記念日とする
- 昭和4年4月29日 校旗樹立式
- 昭和13年5月10日 尊徳像除幕式
- 昭和16年4月1日 川口村泉水国民学校と改称
- 昭和22年4月1日 川口村立泉水小学校と改称
- 昭和23年4月16日 PTA結成
- 昭和25年8月30日 屋内運動場増築竣工式
- 昭和31年2月29日 校歌披露

閉校によせて

泉水小学校長 中静 憲夫



本校は開校以来、幾度か名称を変えながら、天納の地で五十七年、現在の地で二十五年、合わせて八十二年の歴史を刻んで参りました。その間、本校を巣立った卒業生は二、三〇〇人余り。その方々が町内はおろか、全国各地で活躍されているという事実は、本校の教育の大きな功績であり、誇りでもあります。

さて、本校最後の在校生となった三十人の児童は、閉校が決まって以来、一日一日を大切に学校生活を送ってきました。宇宙一挨拶と返事のよい学校を目指すと意気込みをもって物事に取り組み姿は、多くの人を感動させました。ほめてやりたいと思います。

さらに、本校で頑張ったこと、学んだことに誇りと自信をもち、堂々と胸をはって川口小・中学校に進んでほしいと、願っています。最後に、本校に対する町内の皆様方のご厚情に感謝申し上げます。

「泉水小学校の思い出」

一年 平澤 真也
泉水小学校、ほくにたくさん思い出を作らせてくれてありがとう。一ばん楽しかった思い出は、うんどう会だったよ。赤ぐみの人たちときょう力してきょうぎをした。二位や一位をいくつもとれたからだよ。

二年 星野 大騎
ほとくの泉水小学校での一番の思い出は、マラソン大会で一位になったことです。もつと足がはやくなって、川口小学校のマラソン大会でも一位がとれるように、家のまわりを走ったりして、これからも体をきたえていきます。

三年 平沢 悠亜
泉水小学校の一番の自まんは、あいさつです。全校の人数は少ないけれど、どの学校にも負けないくらいあいさつがいいです。合い言葉は、「川口一、中越一、新潟県一、日本一、宇宙一、あいさつがいい学校」です。ほくは、これからも宇宙一元気なあいさつを続

けていきたいです。

四年 広井 彬誉
私にとってこの四年間で、運動会やいすみつ子ショップがすごく楽しく、とてもいい思い出でした。また、返事やあいさつもがんばりました。近所の人にほめてもらった時は、とてもうれしかったです。これからも、あいさつと返事をがんばりたいです。

五年 須田 美月
私の泉水小一番の思い出は、運動会の駅伝チームで心を一つにして走ったことです。泉水小のよさは、あいさつです。朝、玄関で聞こえる元気な声は、私とみんなの一日のエネルギーになるのです。これからも明るいあいさつを大切にしていきたいです。

六年 広井 聡
泉水小学校での一番の思い出は、マスケット長をした運動会です。みんなで協力して描きあげた戦国武将の絵がとてもうまく描きあがって、うれしかったです。ほくの夢は、プロ野球選手になることです。好きな野球をがんばって練習して、夢をかなえたいです。

- 昭和32年8月1日 川口町立泉水小学校と改称
- 昭和34年12月2日 牛乳給食開始
- 昭和35年12月2日 荒谷分校校舎竣工式
- 昭和41年9月22日 完全給食開始
- 昭和45年7月24日 プール竣工式
- 昭和58年4月1日 新校舎竣工式・開校式・祝賀会
- 平成2年10月18日 文化祭で石投げ甚句初公開
- 平成11年4月1日 複式学級開始
- 平成16年10月23日 中越大震災発生
- 平成16年10月24日 避難所となる
- 平成16年11月8日 学校を再開する
- 平成16年12月6日 グラウンドに建設の仮設住宅が完成し入居開始
- 平成17年7月29日 中山間地農業技術センターに仮設グラウンドを設置
- 平成17年10月16日 創立80周年記念式典・記念演奏会・祝賀会を開催する
- 平成19年6月7日 グラウンド復旧
- 平成20年3月31日 泉水小学校閉校

平成20年度予算のあらまし

財政再建と地域の自立にむけて

一般会計 29億500万円

(前年度比0.2%減)

2年連続の超緊縮型の 予算編成に

平成20年度一般会計と7つの特別会計予算が町議会3月定例会で可決成立しました。平成20年度予算のあらましについてお知らせします。

今年度の一般会計当初予算は、歳入歳出総額29億500万円で、前年度と比較し500万円の減額となり2年連続で超緊縮型の予算編成となりました。

平成21年度に町債の元利償還金のピークが到来することから、基金の取崩し及び新規の町債発行を最小限に抑制し、徹底した予算のスリム化を行いました。

予算の編成では、限られた財源を緊急性の要する重要施策に重点的に配分する一方で、人件費の削減や建設事業の抑制、消耗品費や光熱水費等の徹底した削減などに努めました。

歳入

町税は、住民税が雑損控除の終期により増額となりました。しかし固定資産税(家屋)の減免措置が継続中であり、町税全体では、1960万円の増額が見込まれます。

町の最も大きな財源である地方交付税は、特別交付税が平年ベースとなり、普通交付税が税源移譲に伴い減額することから約2400万円の減額が見込まれます。

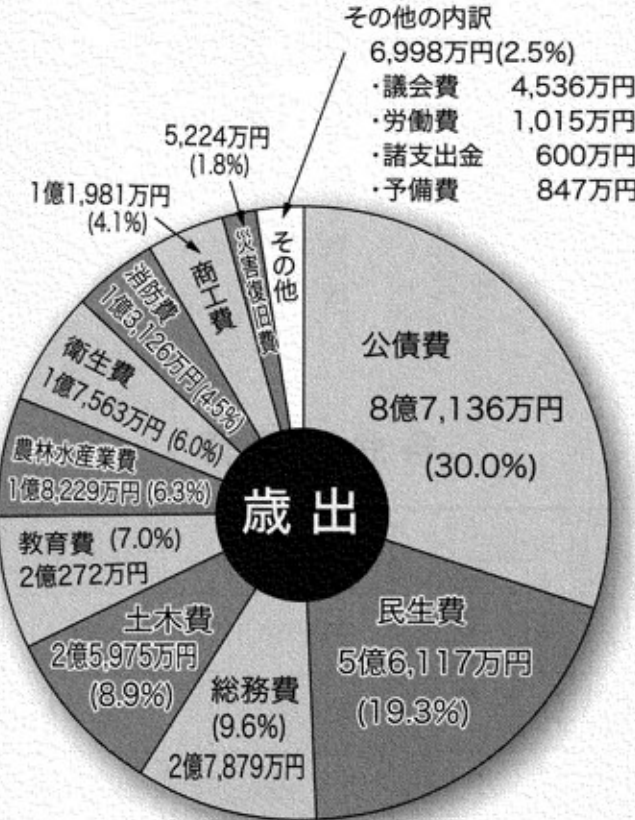
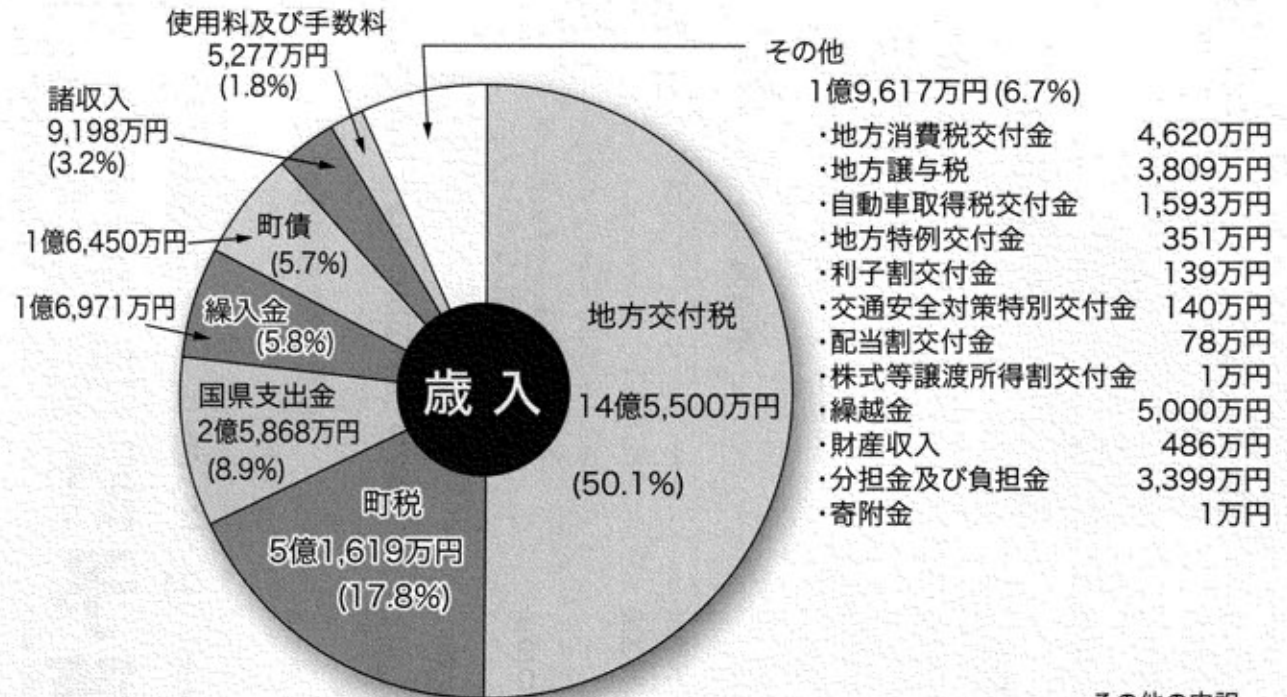
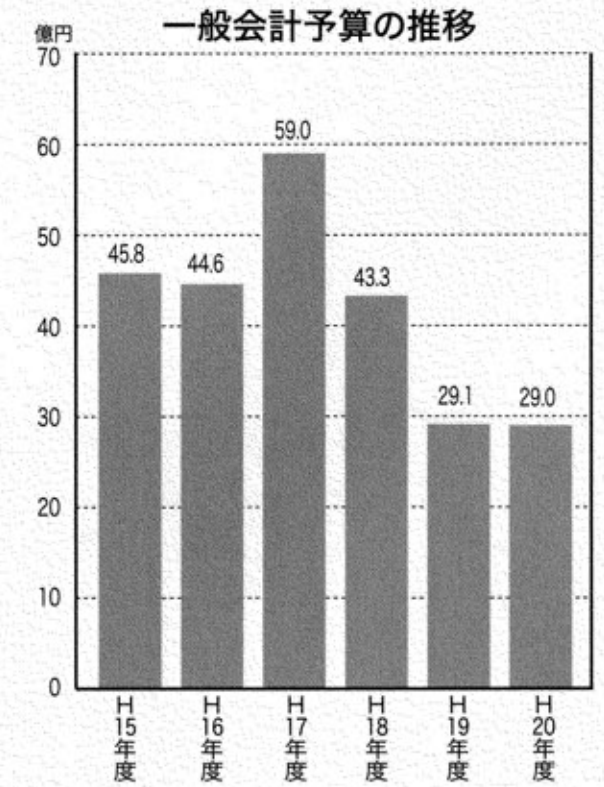
繰入金は、繰上償還や建設工事に伴う新たな町債発行を抑制するため、基金(貯金)の一部を取崩し、充当することとし、1億6970万円を計上しました。町債は、返済時に交付税措

歳出

普通建設事業費は、新規事業の抑制、事業の見直しなどにより、前年比約6700万円の減額を計上しました。災害復旧事業費は、中越大地震などの災害復旧工事の完了により前年比約8600万円の減額を計上しました。

さらに人件費は、職員の勤奨退職、希望退職により前年比約3400万円の減額を計上しました。一方、公債費は、中越大地震による町債の元金償還が始まるため、前年比約8300万円の増額を計上しました。

このうち、借入利率の高い町債約3300万円の繰上償還(補償金免除)を行い、利子負担の軽減及び町債残高の減少に努めました。



一般会計歳出予算性質別分類 (使い道で見る歳出)

区分	金額
人件費	4億8,219万円
扶助費	1億3,894万円
公債費	8億7,136万円
普通建設事業費	1億2,529万円
災害復旧事業費	4,296万円
物件費	4億2,824万円
維持補修費	8,803万円
補助費等	3億7,591万円
繰出金	2億9,749万円
その他	5,459万円
合計	29億500万円

用語一口メモ

歳入 大きな事業を行うとき財源の不足を補うために町が借りるお金です。

繰入金 一般会計が不足になったとき、基金(貯金)から一般会計に入れるお金です。

諸収入 他の収入科目に含まれない収入をまとめたものです。税の延滞金、預金利子、雑収入などが含まれます。

歳出 普通建設事業費 災害復旧事業以外の建設等に対する投資的な経費をいいます。

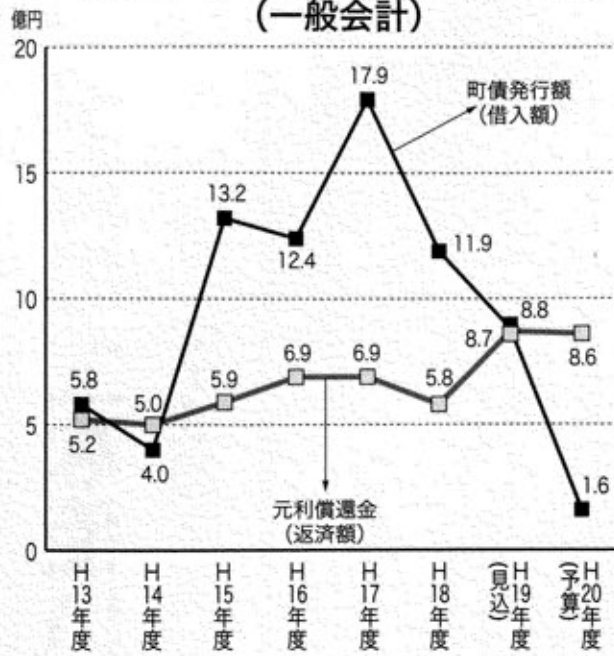
公債費 町が発行した町債の元金及び利子の支払いに要する経費をいいます。

扶助費 保育園や障害者等に措置される経費で社会保障制度の一環として支出されるものです。

繰出金 主に一般会計と特別会計相互間において、繰り出される経費をいいます。

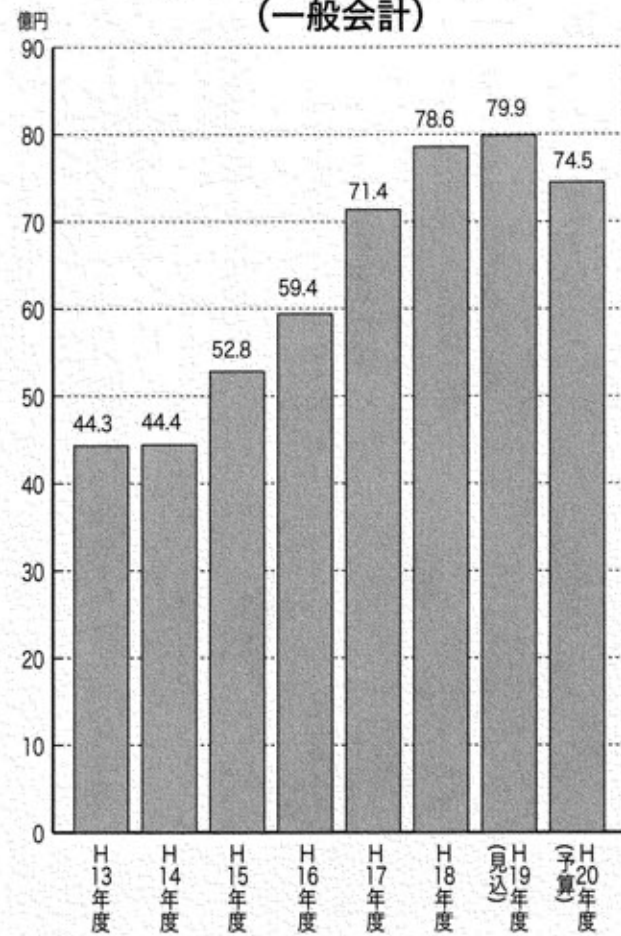
平成20年度予算

借入金(町債)の借入額と返済額の推移
(一般会計)



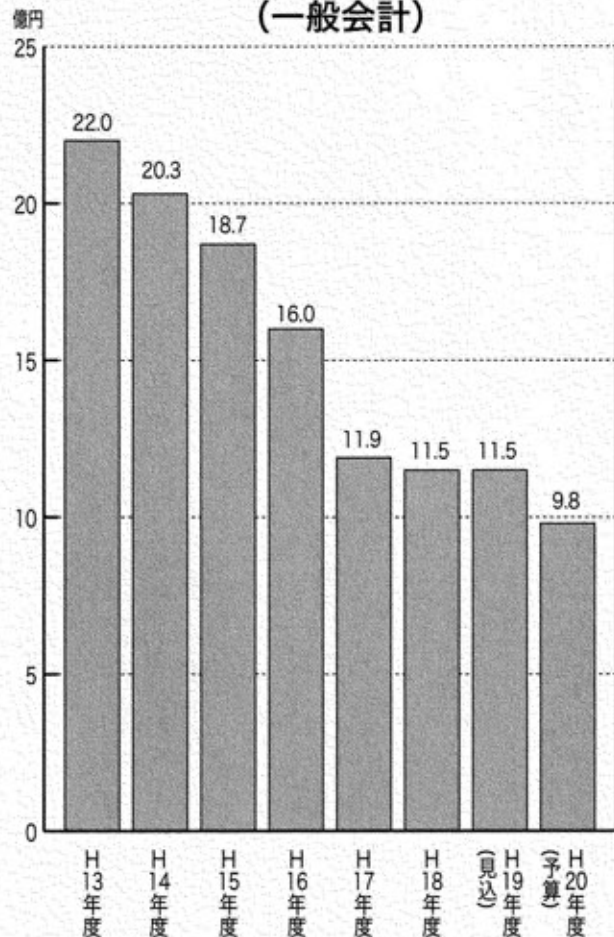
平成20年度予算では借入金(町債)の発行を抑え、借入利率の高い借入金(町債)の繰上償還を行うことで、返済金額が借入金額を上回りました。

借入金(町債)残高の推移
(一般会計)



借入金(町債)残高は平成19年度に約79億9,800万円をピークを迎える見込みです。平成20年度予算では優良債以外の新たな起債発行を「ゼロ」とし、約3,300万円の繰上償還も行い、約74億5,800万円となる見込みです。

預金(基金)残高の推移
(一般会計)



平成20年度予算では人件費や建設事業費の抑制など徹底した歳出削減や新規の町債発行をとどめ、基金の取崩しを約1億6,900万円に抑えたことにより約9億8,500万円を確保できました。

特別会計予算

総額18億1,400万円(前年度比30.1%減)

○国民健康保険事業

4億4,600万円(15.8%減)

医療費の抑制を図るため、本年4月から医療保険者に義務化された「特定健診・特定保健指導」を実施し、生活習慣病対策の推進を図り、予防を重視した生涯を通じた健康づくり対策を実施します。

○老人保健事業

5,900万円(91.9%減)

本年4月から後期高齢者医療制

度へ移行するため、制度移行に伴う1か月分の予算計上となり、大幅な減少となりました。

○後期高齢者医療保険事業

5,200万円(新設)

国の医療制度改革により老人保健制度から移行された75歳以上の高齢者を被保険者とする新たな医療保険制度として創設されました。運営は、県内全市町村が加入する新潟県後期高齢者医療広域連合が行い、町の業務は、保険料の徴収、各種申請・届出の受付などになります。

○介護保険事業

4億6,900万円(7.6%増)

急速な高齢化の進行にあわせ給付は年々増加している状況の中、介護サービスの充実と予防を目的とした事業を引き続き実施します。



各会計予算

会計名	平成20年度当初予算額	前年度比
一般会計	29億500万円	△500万円
国民健康保険特別会計	4億4,600万円	△8,400万円
老人保健特別会計	5,900万円	△6億6,500万円
後期高齢者医療特別会計	5,200万円	5,200万円
介護保険特別会計	4億6,900万円	3,300万円
簡易水道事業特別会計	2億300万円	△7,000万円
下水道事業特別会計	3億6,000万円	1,500万円
ガス事業会計	2億2,500万円	△6,290万円
合計	47億1,900万円	△7億8,690万円

○簡易水道事業

2億3,000万円(25.6%減)

川口橋の架替事業関連に係る国道17号取付けまでの右岸部分の水道管理施設と浄水設備更新事業を行います。

また、引き続き有収率の向上を図り、経営の健全化に努めます。

○下水道事業

3億6,000万円(4.3%増)

昨年に引き続き不明水対策を継続するとともに、牛ヶ島大橋(仮称)上部工の着工にあわせて、下

水道管の添架事業を予定しています。また、供用開始区域の未接続家庭に対して啓発活動を行い、接続率の向上に努めます。

○ガス事業

2億2,500万円(21.8%減)

川口橋の架替事業関連に係る国道17号取付けまでの右岸部分のガス管理施設を行います。

人口減少や他燃料への転換などにより売上高は減少傾向にありますが、今後も積極的な営業活動を行い、経費の節減、効率化を図り、経営の改善に努めます。

平成20年度予算

予算の主な使いみち

(平成20年度一般会計)

今年度は、次のような事業を予定しています。

総務費：2億7879万円
(前年比0・3%減)

町営バスの運行を現行の2台体制から3台体制に増強し、運行の利便性、利用の拡大を図ります。また、選挙費や戸籍の電算化に伴う経費などを計上しました。

- 町営バス運行費 1028万円
- 戸籍総合システム保守業務 1052万円
- 住民基本台帳システム保守業務 827万円
- 交通安全施設整備 160万円
- コミュニティ助成事業補助金 250万円
- バス運行費補助金 257万円
- 県知事・農業委員会委員選挙費 803万円
- 集落夢づくり事業補助金 70万円

民生費：5億6117万円
(前年比4・6%増)

後期高齢者医療制度の関連経費を計上しているほか、障害者の自立支援、子育て支援、高齢者への支援などの事業経費を計上しました。

- 保育園運営費 1億1093万円
- 児童手当 3900万円
- 障害者自立支援 4440万円
- 障害者地域生活支援事業 306万円
- 老人保護措置費 1704万円



- 重度心身障害者医療費 1227万円
- ひとり親家庭等医療費 564万円
- すこやか誕生祝金 130万円
- 精神障害者・腎臓機能障害者医療費 108万円
- 後期高齢者医療費 9212万円
- 障害者地域活動支援センター業務 301万円
- 障害者相談支援業務 321万円

衛生費：1億7563万円
(前年比8・0%減)

古紙回収事業や生ごみ処理容器購入費補助金などを計上し、ごみ減量化対策を推進します。また保健事業については、引き続き生活習慣病の予防、早期発見に努めます。

- 基本健診 164万円
- がん健診(子宮がん・肺がん・乳がん・胃がん・大腸がん) 710万円
- 一般廃棄物収集業務 1655万円
- 予防接種、結核健康診断 840万円
- 小千谷地域広域事務組合負担金(ごみ、し尿分) 9832万円

- 乳児・幼児医療費 629万円
- ごみ減量化対策 73万円
- 生ごみ処理容器購入費補助金
- 資源物回収奨励金
- 古紙回収事業

労働費：1015万円
(前年比6・9%減)

県労働金庫預託金 1000万円

農林水産業費：1億8229万円
(前年比44・2%増)

合併しても埋もれない、自立した地域を創るための、地域の自立化推進対策の経費などを計上しました。

- 県営事業負担金(牛ヶ島農免農道) 4408万円
- 村づくり交付金事業(集落道1路線) 1010万円
- 商品開発アドバイザー業務等 520万円
- 中山間地域等直接支払制度補助金 1632万円
- 農業振興費補助金 310万円
- 集会施設復旧工事 850万円

商工費：1億1981万円
(前年比68・0%増)

商工業振興・地域活性化事業補助金等、商工業の復興に向けた費用を計上したほか、町民主体のまつり実行委員会への支援強化のため、まつり実行委員会補助金を計上しました。

- まつり実行委員会補助金(川口まつり、雪洞火ほたる祭) 500万円
- 商工業振興・地域活性化事業補助金 200万円
- 健康増進施設指定管理料 5000万円
- 商工関係への貸付 1800万円
- 地方産業育成資金貸付
- 商工組合中央金庫貸付

土木費：2億5975万円
(前年比28・2%減)

住みやすいまちづくりのために町道の改良、舗装事業や除排雪業務委託費を計上しました。

- 道路改良・舗装事業(新設1路線・改良1路線) 1470万円
- まちづくり交付金事業(改良・舗装1路線) 1704万円
- 町道除排雪業務委託 5967万円
- 克雪住まいづくり支援事業補助金 121万円

消防費：1億3126万円
(前年比4・4%増)

小千谷地域広域事務組合負担金や万一の災害に備え消火栓設置工事の負担金を計上しました。

- 小千谷地域広域事務組合負担金(常備消防分) 1億761万円
- 防災行政無線個別受信機整備 24万円
- 消防施設修繕工事 70万円
- 消火栓設置工事負担金 200万円

教育費：2億272万円
(前年比9・0%減)

語学力、コミュニケーション能力の向上と異文化交流を図るため引き続き外国人青年招致事業を行います。また川口中学校の耐震化に向けた費用を計上し、安心・安全な学校づくりを推進します。

- 川口中学校耐震化事業 258万円
- スクールバス更新(リース1台) 260万円
- 奨学金貸付 912万円
- パソコン借上料(小学校・中学校) 941万円
- ALT英語指導助手 430万円

災害復旧費：5224万円
(前年比62・2%減)

災害復旧工事はピークを過ぎたことで、事業費を大幅に削減しました。

- 農地農業用施設 2108万円
- 林業施設 1140万円
- 公共土木施設(道路・河川) 1976万円





19年度は古紙回収で55トンを再資源化
町では、ごみの減量化・再資源化を基本として分別収集に努めてきました。17年度は中越大地震の解体ごみなどが多く出されましたが、表1のとおり、19年度は18年度と比

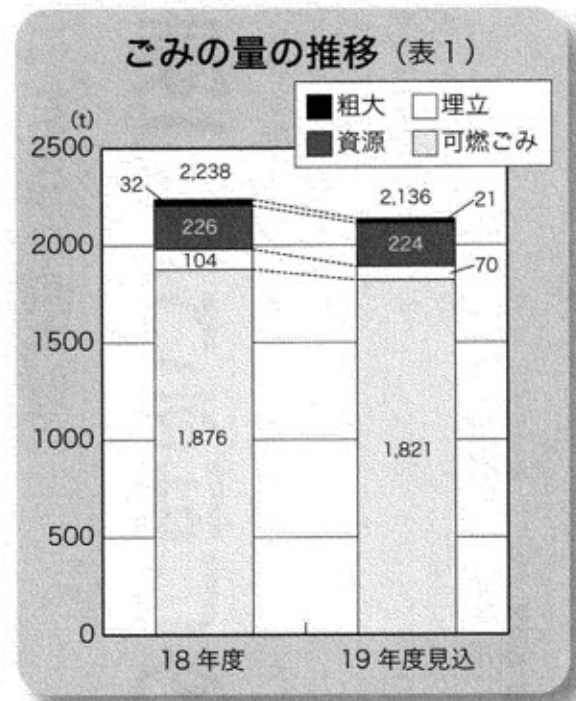
限りある資源を大切に

ごみの減量化にご協力を

町では、4月から毎月第3土曜日に古紙の回収、等々木曜日に粗大ごみの収集を実施します。ごみは分別することによって資源に生まれ変わります。特に古紙類は、燃やすごみに出さず、分別して古紙回収日に出すようにご協力ください。

粗大ごみで収集しないものが多いです。4月から粗大ごみの収集が再開されますが、毎年、農機具やパソコン、テレビなど、町で収集できないごみが多く出されます。町で収集できないごみは、許可業者か販売店に処理をお願いしてください。

粗大ごみで収集しないものが多いです。4月から粗大ごみの収集が再開されますが、毎年、農機具やパソコン、テレビなど、町で収集できないごみが多く出されます。町で収集できないごみは、許可業者か販売店に処理をお願いしてください。



較すると102トン減少する見込みです。特に、可燃ごみでは55トン減少しており、昨年4月〜12月での古紙回収で55トンもの量を再資源化した量がそのま

ま減量化につながったといえます。ごみの排出量の増加は、焼却によるダイオキシンの発生や地球温暖化など環境面での問題のほか、処理費用の増加により町財政を逼迫させる原因にもなります。昨年以上に分別及び再資源化へのご協力をお願いします。

粗大ごみで収集しないものが多いです。4月から粗大ごみの収集が再開されますが、毎年、農機具やパソコン、テレビなど、町で収集できないごみが多く出されます。町で収集できないごみは、許可業者か販売店に処理をお願いしてください。

ご存知でしたか？
平成15年10月以降に販売された家庭用パソコンにはPCリサイクルマークが貼付されています。
このマークが付いたパソコンは、次の手続きにより、新たに回収・リサイクル料金を負担する必要はありません。
① 申込み
廃棄するパソコンのメーカーのリサイクル受付に申し込むと「エコゆうパック伝票」が送付されます。
※各メーカーのウェブサイトにからも申込みできます。
② 回収
梱包したパソコンにメーカーから送られた伝票を張り、ゆうパックの集荷を依頼。再資源化センターに配達され、新たな資源に変わります。
問い合わせ 町民福祉課
☎ 89-4418

4月1日から

町営バスの運行内容を変更

週6日運行に

路線バス「小千谷車庫〜田麦山線」が、3月31日をもって廃止となりました。このため4月1日から町営バス（黄色バス）を増便し、あわせて運行時間、運行ルートの一部変更します。

主な変更内容は

- 「田麦山発川口駅行き直行便」を1便運行します。
※8時台のJ R上越線及び路線バスへの乗換えができ、通勤・通学に便利になります。
- 現行朝7時台の「町内循環ルート」（木沢〜田麦山〜西川口）の時間を変更します。
- 祝日及び土曜日も運行します。
※月〜土曜日まで週6日運行（年末年始除く。なお、和南津方面は川口温泉旅館日の毎週火曜日は運休します。また駅直行便及び町内循環ルートについては土曜日は運休します）
- 高校生が通学に利用する場合、その通学区間に限り半額（乗車1回につき100円）で利用できます。

町営バス通学区間証明書

学校名 _____
氏名 _____
通学区間 _____

上記、通学区間であることを証明します。
平成 年 月 日
川口町長 岡村 謙

町営バス通学区間証明書

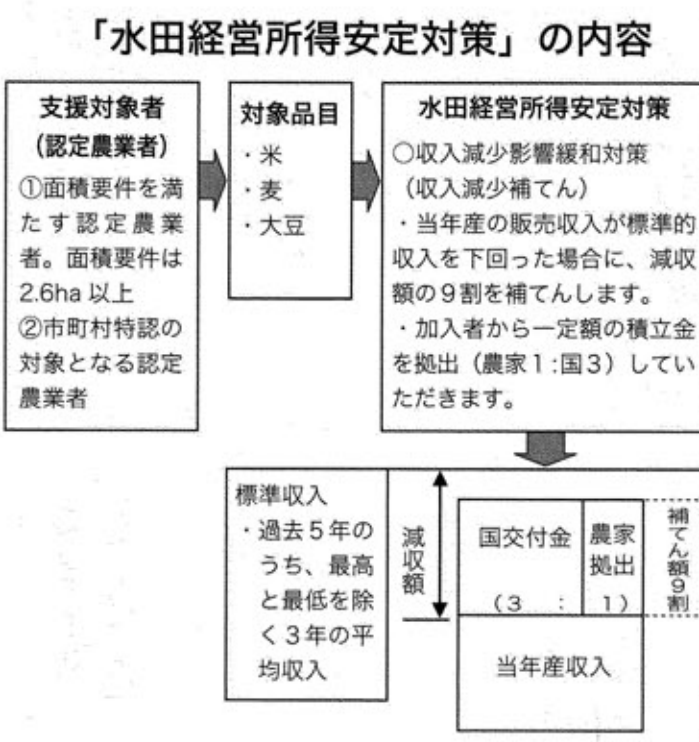
※「町営バス通学区間証明書」が必要です。必要な方は、1階窓口（4月から町民福祉課）で申請を受け付けますので、学生証と印鑑をご持参ください。

※別途配布した町営バス運行時刻表で運行時間をよく確認してお間違いないようにしてください。

問い合わせ 総務課
☎ 89-3111

水田経営所得安定対策の経営規模要件が緩和に

4月から、水田経営所得安定対策（品目横断的経営安定対策から名称変更）の支援対象者の経営規模要件が緩和され、「町が認めた認定農業者」も、加入することができるようになりました。
平成19年度は33農家が加入し、米価の下落などによる「収入減少補てん」の対象となり、農家経営の安定に寄与しました。
今年度は、申請が簡単になりましたので、加入を検討される方はご相談ください。
問い合わせ 産業振興課
☎ 89-3113
JA北魚沼川口営農センター
☎ 89-4059



取組ははじまっていますか？基本健診

今から健康づくりを始めてみましょう

健康づくりは、自分の身体の状態を知ることからスタートします。平成20年度からは、医療制度改革により40歳～74歳の方の健診(特定健診)が保険者の義務とされ、内臓脂肪に着目した保健指導が開始されます。毎年、基本健診や人間ドックを受け、その結果から自分の生活習慣を見直しましょう。

グラフからわかる町民の健康状態

平成19年度の基本健診の結果です。自分の結果と比較してください。

全体を見ると表1のとおり、40歳以上の有所見率1位は脂質代謝異常で、2位が血圧異常、3位は心所見と動脈硬化に直結する所見が上位を占め、この傾向は毎年変わっていません。



町の医療費(入院外)でも高血圧性疾患が上位を占めており、健診結果との関連が見られます。

40歳未満では脂質代謝異常、肥満、貧血が20%を超え、肝機能障害については若年者に多くなっています。

また、男女別では、男性は表2のとおり、脂質代謝異常の割合が40歳代から多くなり、肥満は20歳代から30歳代に多く見られ、これらの年代からの注意が必要です。

女性は表3のとおり脂質代謝異常の割合で、50歳代が最も高く、更年期の影響も考えられますが、食生活と活動のバランスに注意となつてく

保健師からのアドバイス

内臓脂肪型肥満(へその高さで計測した腹囲が男性85cm以上、女性90cm以上)に高血圧・高血糖・脂質異常が複数重複していると危険信号です！

このような状態をメタボリックシンドロームといい、動脈硬化を急速に進行させ、心臓病や脳卒中などを発症する危険が高くなることから分かってきています。

血液検査は医療機関等でなければ分かりませんが、体重は家庭でも簡単に知ること



標準体重とは？

標準体重=身長(m)×身長(m)×22(望ましいBMI)

※BMIとは…体格指数と言い、この数値が22の時が一番病気になるにいいといわれています。

BMI=体重(kg)÷身長(m)÷身長(m)

BMI	体格判定
19.8未満	やせ
19.8~24.2未満	普通
24.2~25.0未満	やや肥満
25.0以上	肥満



できる目安です。まずは標準体重を目指し、少しずつ改善を図りましょう。

また、血圧測定も家庭でできる健康チェックのひとつです。簡単にできる血圧計も多いので、血圧値が気になる場合は、普段から定期的に測定し経過を見ていくことをお勧めします。気になることがあれば主治医に相談してください。

家族の健康は食卓から あなたの食事は大丈夫？

生活習慣病の発症や進行には、栄養・運動・ストレスなどの日常生活が深く関わっており、健康づくりの第1歩は生活習慣を見直すことからです。まずは、自分の食生活を見直してみてください。

- ・一日三食規則正しく食べましょう。
- ・食事は主食・主菜(肉・魚・卵・大豆類)・副菜(野菜・いも・きのこ・海藻類)を組み合わせてバランスよく一日に必要なエネルギー量はその人の性・年齢・活動量によって違います。自分の適量を知りましょう

健診を受けた後が肝心

健診結果を見て満足したり、落ち込んだりしているだけでなく、食生活の見直しや、運動を開始するなど、次のステップに取り組んでください。

町では、健康に関する相談を保健師や栄養士が随時受け付けています。問い合わせ 町民福祉課(末広荘) ☎89-23359

町の事業や施設を使って健康づくりを始めよう

町では、健康づくり事業を本年度も実施しています。また、川口温泉のトレーニングルームには、各種マシンが完備していますので、積極的に利用し生活習慣病の予防に努めましょう。

いきいきアップ体操

ちよつと体を動かしてみようかなという方は、この体操に参加してみてもいいかもしれません。仲間作りにもなり楽しい教室です。ちよつとした体力測定も定期的に実施しています。

日時 毎週月・木曜日 13時~15時

場所 生涯学習センター 参加料 500円/月 問い合わせ 町民福祉課(末広荘) ☎89-23359

いきいきアップクラブ

川口温泉トレーニングルームで主にマシンを使って運動を実施します。(自己責任において運動をしていただきますが、本年

度は、ストレッチやヨガ、ボディーメイキングなどのインストラクターを派遣します。

町では、定期的に体力測定や栄養指導を行い、健康診断の結果から保健師の指導も実施する予定です。

日時 毎週月・木曜日 13時~17時

(変更となる場合があります) 場所 川口温泉トレーニングルーム 参加料 トレーニングルーム利用料 (1回200円※定期利用券もあり)

問い合わせ 町民福祉課(末広荘) ☎89-23359

町内にある各種スポーツクラブ

町内には、バレーボール、サッカー、バドミントンなどの競技スポーツやボディーメイキングなどさまざまなスポーツクラブがあります。

大勢の仲間と楽しみながら健康づくりに取り組んで見ませんか？ 問い合わせ 教育委員会 ☎89-21119

る年代といえます。また、肥満は年代が上がるにつれ増加の傾向が見受けられます。なお、男女とも血圧異常や

糖代謝異常は、50歳代を過ぎると急増する傾向にあります。

基本健診では、あくまでも「異常があるかどうか」をみています。要精密検査や要医療の方は、必ず主治医に相談してください。

表1 基本健診の有所見率(年代別)

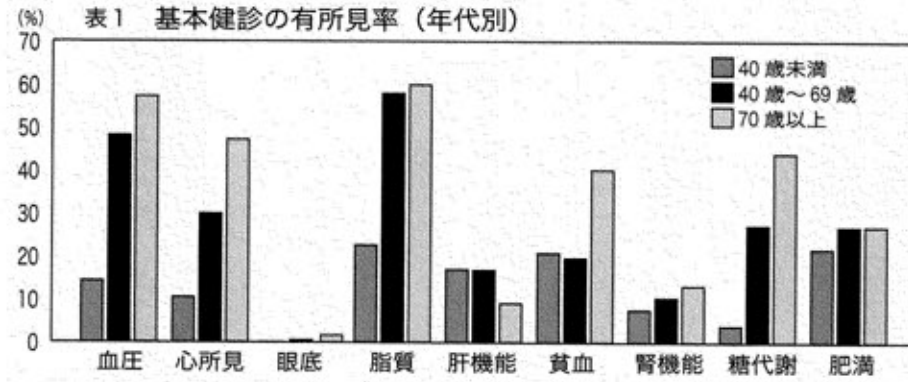


表2 年齢別有所見割合(男)

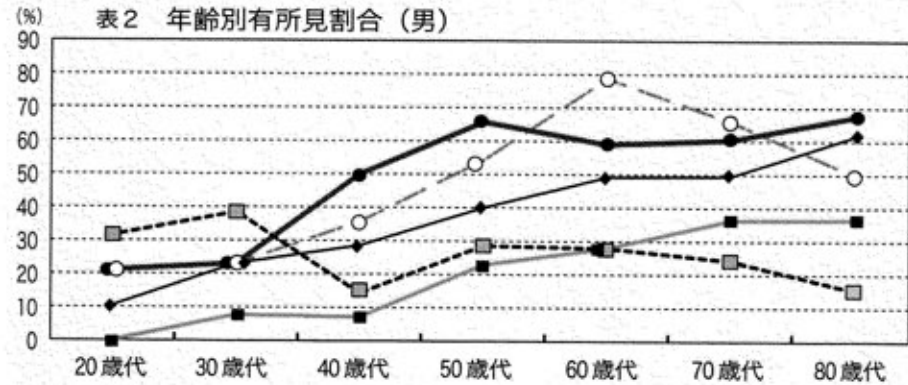
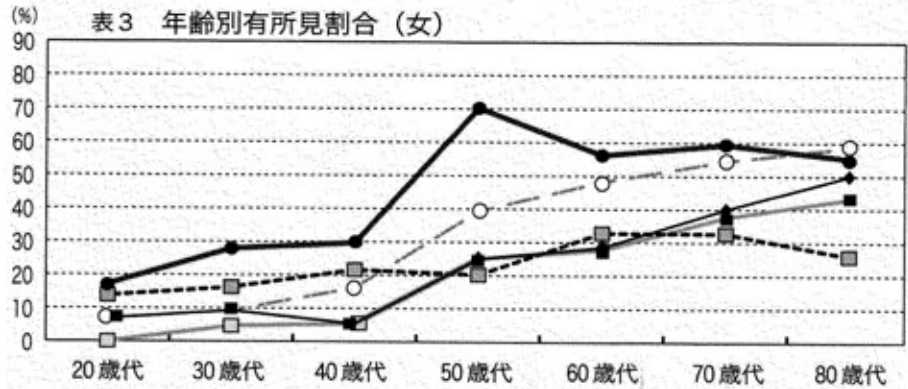


表3 年齢別有所見割合(女)



4月から

国保制度の内容が変更

国民健康保険は、住民の皆さんの大切な医療保険制度です。今後も安心して医療が受けられるように4月から制度内容が変わりましたのでお知らせします。

○窓口での負担額が変更

①3歳から義務教育就学前までの子どもの窓口負担の割合について、3割から2割に引き下げられます。

②75歳以上の方は後期高齢者医療制度に加入しますが、窓口負担は従前通り1割(一定以上所得者は3割)で変更ありません。医療機関の窓口では、新潟



県内の全市町村が加入する「新潟県後期高齢者医療広域連合」の被保険者証をご提示ください。(一定以上所得者は3割となります)

③70〜74歳の方の窓口負担の割合について、平成20年4月から平成21年3月まで1割に据え置かれます。

○被保険者証が変更

(一定以上所得者は3割となります)。また障害認定を受けて後期高齢者医療制度の被保険者になった方は除きます。

○高額な医療及び介護の負担が軽減されます

④退職者医療制度の対象年齢が変わります。退職者医療制度の対象者が65歳未満に変わります。これにより、退職から一般の被保険者証に変更となります。

⑤高額医療・高額介護合算制度が始まります。

同じ世帯で国保と介護保険

の給付を受けたことにより自己負担が高額になった時は、(表1)の自己負担限度額(毎年8月〜翌年7月までの年額)が適用され、負担が軽減されます。

自己負担限度額(表1)

Table with 3 columns: Category (e.g., 現役並み所得者), National Health Insurance + Care Insurance (70-74 years old), National Health Insurance + Care Insurance (including under 70 years old).

※平成20年度は通常より対象期間が長いので()内の限度額が適用されます。

問い合わせ 町民福祉課 ☎89-4418

信濃川河岸段丘ウォークに参加しませんか

歩くことの素晴らしさや美しい景観を味わいながら河岸段丘を歩き、体に明日へのエネルギーを充電しましょう。トン汁サービスタスなどのお楽しみイベントもあります。詳細はお問い合わせください。

開催日 4月29日(昭和の日) 参加資格 年齢・性別は問わず健康な方。小学3年生以下の方は保護者など引率者が同伴してください。

コース 12km〜50kmまで全6コース 参加料 コースにより異なります。(500円〜2千円)

申込期限 4月24日(木)まで 申込み・問い合わせ 教育委員会 ☎89-2119 信濃川河岸段丘ウォーク実行委員会事務局 ☎83-0077

萩彩会作品展を開催

絵画サークル「萩彩会」の作品を展示します。この機会にぜひご覧ください。

期間 4月2日(水)〜5月7日(水) 開催時間 10時〜17時 休館日 毎週火曜日(なお、火曜日が祝日のとき、翌日が休館日) 会場 交流体験館「杜のかたらい」 観覧料 無料 問い合わせ 教育委員会 ☎89-2119

4月23日から

川口温泉の入浴料が改定されます

4月23日からえちご川口温泉の入浴料が次のとおり改定されます。

Table with 3 columns: Category (大人, 子供), Hot Spring (通常料金), Onsen (午後7時〜).

- ※大人は中学生以上、子供は3歳以上小学生以下です。
※平日1回利用につき1ポイント貯まり、15ポイントで無料券1枚を進呈します。
※回数券は3月31日をもって販売を中止しました。
※贈答用利用券も発行しておりますので、ご利用ください。
○年間会員を募集します。(入会月より1年間)
年会費 大人1万円で1回につき料金の200円引き
子供5千円で1回につき料金の150円引き
町内町外を問わず個人でお申し込みください。
問い合わせ えちご川口温泉 ☎89-4511

アルビレックス新潟 試合観戦ご招待のお知らせ

Jリーグディビジョン1第12節 アルビレックス新潟 対 ジュビロ磐田
日時 5月10日(土) 19時試合開始
会場 東北電力ビッグスワンスタジアム
応募条件・募集人数 川口町在住者 200名
応募方法 往復ハガキの往信裏面に①5月10日磐田戦②住所③氏名・年齢④電話番号⑤チケットの希望枚数(3枚まで)⑥後援会資料請求(する・しない)を記載し、返信用表面にご自分の住所・氏名をご記入の上、送付してください。
※応募は、1世帯につき1通限り有効です。
応募多数の場合は抽選となります。
応募期限 4月28日(月) 必着
招待の可否 返信用ハガキにてお知らせします。
あて先 〒950-0954 新潟市中央区美咲町2-1-10アルビレックス新潟後援会「試合観戦ご招待」係
問い合わせ アルビレックス新潟後援会 國井/牧野 ☎025-282-0011

大会結果 (敬称略)

川口町体育協会長杯 川口オープンバドミントン大会 (2月16日 川口中学校体育館)
男子Aクラス
1位 関矢直之・坂井友紀 組 (柏崎)
2位 堀圭司・五十嵐寿昭 組 (小千谷)
3位 久保亮哉・松本悠介 組 (柏崎)
男子Bクラス
1位 今井誠・藤沢洋 組 (川口)
2位 西牧昭・武田勇司組 (長岡)
3位 今井修・小林稔 組 (小千谷)
女子
1位 権沢奈保子・鈴木康子 組 (長岡)
2位 細井貴子・平澤千加子 組 (長岡)
3位 大野美奈子・綱紀子 組 (川口)

犬の登録と狂犬病予防注射のお知らせ

対象 生後91日以上の犬
料金 注射料金 3,100円
登録料金 3,000円(新規登録の場合)
携行品 予防注射受付用ハガキ・印鑑
新たに犬を飼われた方は、通知が行きませんので、当日受付においでください。
問い合わせ 町民福祉課 ☎89-4418

狂犬病予防注射日程表

Table with 3 columns: Date (4月8日, 5月10日), Time, Location.

川口町クリーン大作戦を実施します

町の豊かな自然環境を守るため、クリーン大作戦を行います。多くの方からの参加をお願いします。
日時 4月27日(日) 8時〜9時
問い合わせ 町民福祉課 ☎89-4418

春の全国交通安全運動 4月6日〜15日

春を迎え、新たに通学・通園する子どもたちの交通事故や、高齢者の交通事故を防止するため、春の全国交通安全運動が実施されます。
○運動の重点
・子どもと高齢者の交通事故防止
・全ての座席のシートベルトとチャイルドシートの正しい着用の徹底
・自転車の安全利用の推進
・飲酒運転の根絶

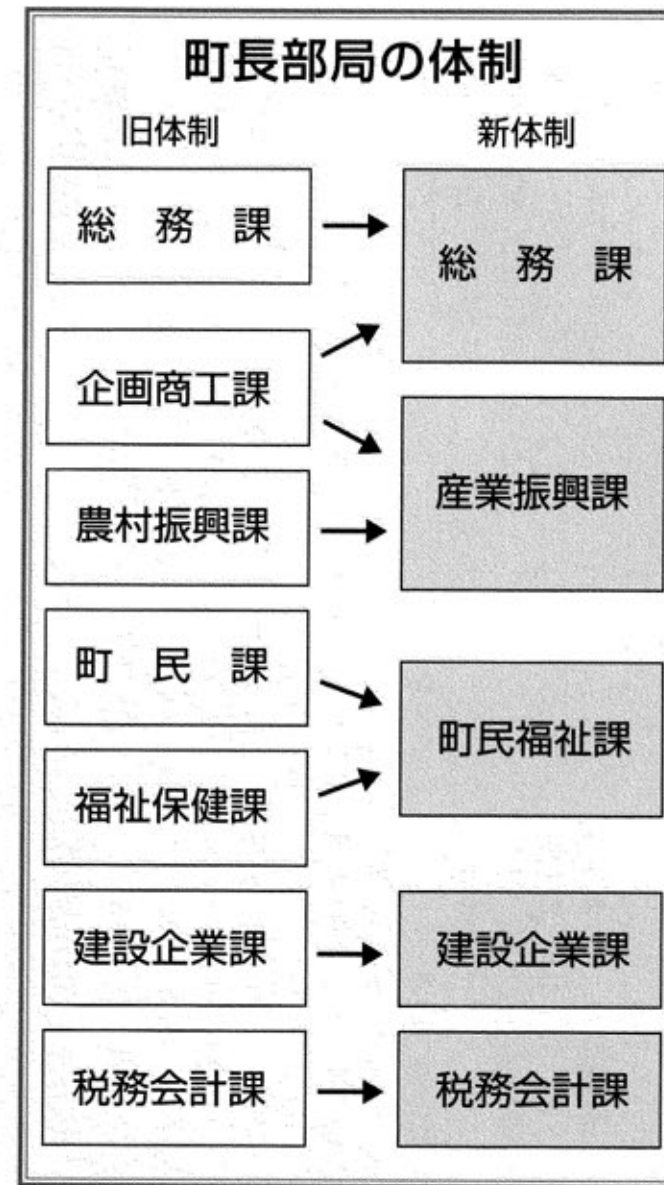
役場の組織・職員配置

平成20年4月1日
※新採用職員

町議会議長 古田島祐豊	議会議務局	事務局長 広井 淳一	町議会、監査に関すること
町長 岡村 讓	総務課	参事(課長心得) 北村 清隆 川上 敬子 鈴木 聡 水落 達也 丸山 高之 山崎 寿 広沢 敏功 山吉 和浩 山田 香織 山崎 竜一 関 雅人 山田 浩平 大淵 智美	・一般庶務、人事、消防、防災、交通安全対策、選挙、庁舎・庁有自動車管理に関すること ・予算、決算、起債、入札、町有財産の管理に関すること ・市町村合併に関すること ・企画、広報・広聴、広域行政、土地利用対策、町総合計画、町営バスに関すること
	税務会計課	参事(課長心得) 会計管理者 佐藤 誠 渡辺 諒一 山田 康浩 佐藤 恵 喜多村竹紀 中林 直毅 星 奈緒美	・町税の賦課、徴収、固定資産の評価、国・県税の指導等に関すること ・公金の出納に関すること
	町民福祉課	課長 関 武司 内山 謙一 間野 光晴 陣内 美江 岡村 則子 須田 裕子 波湯 智則 保坂 淳子 岡村 成輝 岡村 茂 木村奈生実 桜井 護	・戸籍、国民年金、国民健康保険等に関すること ・社会福祉、障害者福祉、老人福祉、保育園、保健指導、栄養指導等に関すること ・中越大震災復興基金総括窓口
		黒島 幸代 山田佳多子	川口町地域包括支援センター
		東川口保育園 園長 井口久美子 原 圭以子 広井 康子 栗原 修 大塚 峰子 渡辺 彩 大淵 葉月 高井 李佳(※)	・乳幼児の保育、給食、健康管理、送迎、施設管理に関すること
	西川口保育園 園長心得 阿部さつき 山田 知子 小見まどか(※)		
	産業振興課	参事(課長心得) 高橋 義法 桜井 正広 浅間 昌子 小西 喜芳 綱 政直 野澤 朋史 渡辺 実 荒川 濃(※)	・農林水産業振興、農業経営構造改革支援、農業委員会、総合農政推進、山村振興に関すること ・地域振興に関すること ・商工振興、労働、観光振興に関すること ・運動公園、公園、集会施設の管理に関すること ・農業振興公社に関すること
	(活性化推進班)	班長(兼務) 岡村 讓 (兼務) 浅間 昌子 綱 政直 野澤 朋史	・6次産業化推進に関すること
建設企業課	参事(課長心得) 阿部 恒雄 参事 広井 義市 関 喜代美 佐藤 直利 山吉 泰久 金沢 賢児 綱 博之 桜井 尚弥 大淵 正文 秋山 仁 阿部 孝之	・道路、河川等土木に関すること ・農村総合整備に関すること ・災害復旧に関すること ・公営住宅に関すること ・ガス、水道、下水道に関すること	
(東川口復興支援班)	班長(兼務) 阿部 恒雄 (兼務) 高橋 義法 関 喜代美 水落 達也 金沢 賢児	・東川口の復興支援に関すること	
教育委員会 教育長 大淵 公男	教育課 次長(課長心得) 阿部 和真 渡辺 勝 阿部 和雄 横山 基文 大淵 雅弘 山田 博子(※) 菅原 芳子 真島富士子 笹崎 昌子	・学校教育、学校施設、給食センターに関すること ・社会教育、社会体育に関すること ・青少年の健全育成に関すること ・交流体験館の運営に関すること	

小千谷地域広域事務組合 星野 智

◎退職者 鈴木政幸 関 達市 丸山耕一 星野晃男 関 隆和 小西美代子 古田島重幸 森山 修
◎派遣終了 長谷川久(長岡市政策広報部へ)



町長部局を7課から5課に

農村振興課の名称を産業振興課に変更します。企画商工課の所管事務の広報・企画部門を総務課に、商工・観光部門を産業振興課に分割します。また、町民課と福祉保健

課の所管事務を統合し、名称を町民福祉課に変更します。なお、産業振興課内に活性化推進班を設け、昨年設置された地域復興支援センターと協働して、地域の活性化に積極的に取り組みます。

各課の主な所管事務は、次

- のとおりで。
- 総務課
- ・議会及び総務一般
 - ・人事及び職員の福利厚生
 - ・防災財政
 - ・総合的な施策又は開発の企画調整及び市町村合併
 - ・広報及び広聴
- 税務会計課
- ・税の賦課徴収
 - ・会計事務

4月1日から役場組織を改編

4月1日から行財政改革の推進により、役場組織を改編し、相互応援体制や柔軟な事務執行ができるように町長部局を5課体制とします。

電話番号一覧

総務課	☎89-3111
産業振興課	☎89-3113
町民福祉課	☎89-4418
税務会計課	☎89-4414
建設企業課	☎89-3114(道路・農地) ☎89-4417(ガス・水道・下水道)
教育委員会	☎89-2119
議会議務局	☎89-2106
東川口保育園	☎89-2028
西川口保育園	☎89-3696
地域包括支援センター	☎89-3974
末広荘	☎89-2359

- 町民福祉課
- ・戸籍及び住民基本台帳
 - ・環境保全及び公害
 - ・保険料及び医療費
 - ・社会福祉及び地域福祉
 - ・保健及び医療
 - ・被災者生活再建支援
 - ・保育園
- 産業振興課
- ・農林水産業振興
 - ・商工業及び観光振興
 - ・地域振興
- 建設企業課
- ・道路、橋梁及び河川その他土木
 - ・農地及び林業
 - ・建築及び公営住宅
 - ・ガス・水道及び下水道

中越大震災災害対策本部を解散

中越大震災災害対策本部を3月31日で解散しました。

これは、昨年度で仮設住宅入居者が全て移転を完了し、中越大震災関連の復旧事業が全て終了したことから、復旧から復興へ向けて進んでいくために解散したものです。

なお、震災復興本部は引き続き設置し、復興に取り組めます。

問い合わせ 総務課
☎89-3111

HOT トピックス

身近な情報をお寄せください! 企画商工課 ☎ 89-3112

震災を乗り越えた町、復興に向けて

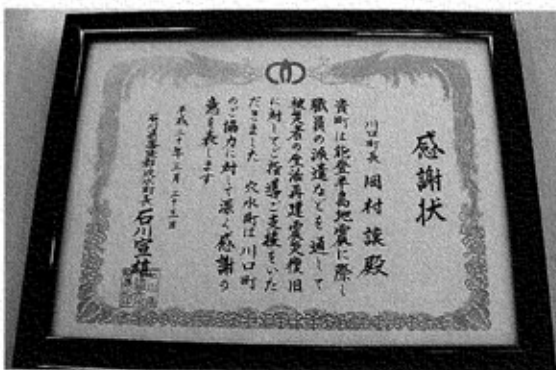
石川県穴水町との新たな交流

能登半島地震により被害を受けた石川県穴水町と当町との震災からの復興を通して、行政や住民間の交流が始まっています。

能登半島地震からの復興支援に感謝状

能登半島地震により被害を受けた石川県穴水町から当町に感謝状が贈られました。

これは、穴水町に震災義援金、支援物資を送ったことや当町職員を派遣し、商店街の活性化に向けた取組など復興に関して助言をす



るなど穴水町の生活再建、震災復興に貢献したことにより贈られたものです。

3月23日に行われた能登半島地震復興記念式典で、感謝状の贈呈が行われました。当町からは穴水町の皆さんに向けて「激励のメッセージ」を送り、式典において読み上げました。

東川口地区住民と穴水町住民との交流

3月22日、23日の両日、東川口地区の有志が石川県穴水町を訪れ、お互いの交流を深めました。

東川口地区では、能登半島地震発生時に商店街が大きく被災した穴水町に義援金を送りました。能登半島地震から1周年となる3月、被災商店街のある穴水町を訪れ、元気づけたいと東川口地区の有志が同町商店街との交流を企画しました。

当日は「よっててえふれあい



市」を開催している本町通り復興活性化委員会のメンバーら18人が参加し、穴水町の商店街が主催する「ワイワイかきまつり」に出店、イノシシ鍋の無料配布や笹だんご、コシヒカリなどの販売を行いました。出店は地元の高校生からもPRしてもらい、行列ができるほど賑わいました。

地元商店街の人たちとの交流会では、「交流はこれからが始まり、これをきっかけにもっと発展させていきたい」と、お互いに交流を続けていくことを誓いあっていました。

翌日は七尾市の「能路マーケット」を視察、参加者は地区と商店街の活性化に向けて実りのあったことを喜んでいました。

元気をくれた学生らに感謝

木沢名誉村民授与式

3月9日

地域づくり団体「フレンドシップ木沢」(代表阿部義夫さん)が、震災後から交流を続けてきた大学生らに「名誉村民証」を授与し、お互いの交流を深めました。

これは震災からボランティアなどで木沢地区を訪れ、元気を与えてくれた学生への感謝とさらなる交流を深めるために企画されたものです。

木沢会館「よろみ」で行われた授与式では、大阪大と長岡技術科学大の学生や卒業生12人に、名誉

地域づくりのきっかけに

LI-MO出前講座

3月1日

財団法人山の暮らし再生機構の主催による「LI-MO出前講座」の第1回講座がホテルサンローラを会場に行われました。

これは中越地域の市町を会場に全5回開催されたもので、中山間地域の住民が自らの地域の魅力に気づき、未来への展望がもてるように企画されました。

阿賀町で地域づくりに尽力して

村民証とお米などの記念品が手渡されました。

名誉村民証は木沢地区に訪れたときや同地区をアピールしたときなどに、ポイントが貯まるシステムで、名誉村民には観光大使としての役割も期待しています。



いる大堀洋之さんを講師に迎えた講座には約30人が参加、参加者は新しい「きっかけ」を求め、大堀さんが実践している民泊や田舎体験の実例を真剣に聴いていました。



雪灯りに囲まれて

東川口雪まつり

3月8日

東川口町会主催による東川口雪まつりが役場駐車場を会場に行われ、団結して東川口の復興を目指す思いをイメージし制作された「希望の灯り」が鮮やかに浮かび上がりました。

来場者は「希望の灯り」を囲み、「ときゅうじ&Waia la」のパンブーサククスやギターを聴きながら、コーンスープや八穀かゆなどを食べて温まっていました。また子どもたちは射的やくじ引き、ソリ滑りなどで楽しんでいました。



料理から生まれた絆

東京家政大学との料理交流会

3月14日

東京家政大学の学生14人が訪れ、地域のおかあさんたちと料理で交流しました。

町内からは荒谷、田麦山、木沢地区、もみじ会の皆さんが参加、学生たちは各地区の集会所などに分かれていました。

料理は、ぜんまい煮やけんちん汁などの「郷土料理」とさつまいものクリームパスタなどの「学生の提案料理」を作りました。学生と地域のおかあさんたちは、おしゃべりしながら、和気あいあいと料理を作成、学生たちは郷土



料理の作り方を教えてもらい、メモをとりながら聞いていました。交流会では、全員でよさこいソーランを踊るなど盛り上がりました。学生たちは「郷土料理や包丁の使い方を教わって勉強になった」と喜び、「今度は川口の弁当をつくらう」と誓っていました。

灯りと音楽で集える場に

カワグチリズムジャム

3月2日

10・23追悼式典実行委員会主催による「ソングオブジアース インニイガタ2008カワグチリズムジャム」が川口町運動公園で行われました。

これは、キャンドルアーティスト、キャンドルジュンさんが音楽を中心に多くの人を集い、被災地の復興などについて協議できる場



づくりを企画したものです。色鮮やかなキャンドルを中心にたくさんの灯りに囲まれ、出店が建ち並んだ会場には、多くの若者らが訪れ、アーティストによるライブに盛り上がりつつありました。

教職員の人事異動

転入された先生

() は前任校
よろしくお願ひします。

- 【川口小学校】
教諭 堀 恵子
(糸魚川市 市振小学校)
- 教諭 徳間チヅ子
(魚沼市 広神西小学校)
- 教諭 星 玲子
(川口町 泉水小学校)
- 教諭 関 敏江
(川口町 田麦山小学校)
- 講師 佐藤 英恵
(川口町 泉水小学校)
- 【川口中学校】
校長 鈴木 茂
(十日町市 中里中学校)
- 教諭 曾田 利行
(上越市 城東中学校)
- 教諭 岩田 孝志
(十日町市 下条中学校)
- 教諭 小倉生里子
(十日町市 中里中学校)
- 教諭 水澤 学
(新潟市 巻西中学校)
- 主事 中村 紋子
(南魚沼市 六日町小学校)

転出された先生

() は転任校
お世話になりました

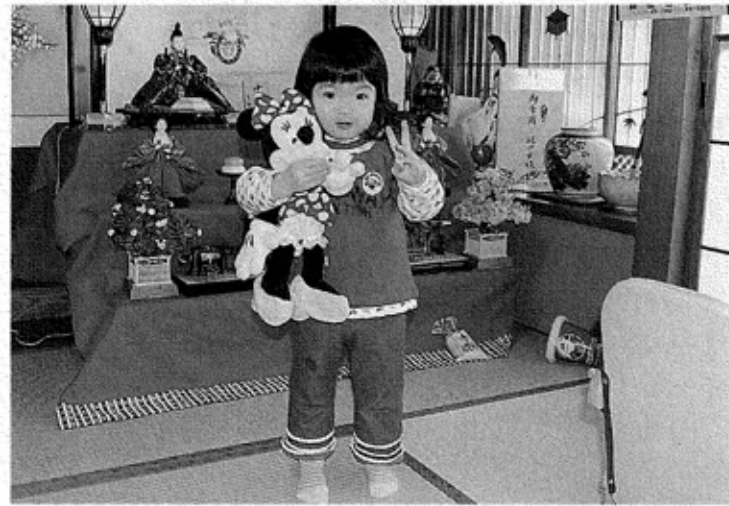
- 【泉水小学校】
校長 中静 憲夫
(定年退職)
- 教頭 藤田 英明
(長岡市 上小国小学校)
- 教諭 高橋 勉
(小千谷市 片貝小学校)
- 教諭 近 久美子
(見附市 田井小学校)
- 養護教諭 飯田 直子
(新潟市 豊照小学校)
- 主任 桜井 和代
(退職)
- 講師 佐藤 家博
(荒川町 保内小学校)
- 【川口小学校】
教諭 滝沢ゆたか
(魚沼市 堀之内小学校)
- 教諭 清野 順子
(新潟市 新潟小学校)
- 校長 内藤 智子
(長岡市 下塩小学校)

- 教頭 榑 俊夫
(新潟市 白井小学校)
- 教諭 船越 友美
(小千谷市 片貝小学校)
- 教諭 南雲 民人
(上越市 針小学校)
- 養護教諭 青木 康子
(小千谷市 真人小学校)
- 主事 富所 陽介
(長岡市 新町小学校)
- 講師 菊田 潤
(在家)
- 講師 眞霜 達文
(十日町市 仙田小学校)
- 【川口中学校】
校長 今井 隆夫
(定年退職)
- 教諭 酒井 和彦
(三条市 大島中学校)
- 教諭 渡辺 幸彦
(三条市 下田中学校)
- 教諭 友野 敦子
(小千谷市 東小千谷中学校)
- 教諭 五十嵐 環
(南魚沼市 六日町中学校)
- 主査 佐藤 重隆
(魚沼市 広神東小学校)

元気です!かわぐちっこ 128

星野 瑞希ちゃん (川口5・2歳)

おとうさん 知明さん
おかあさん 智子さん



人見知りしない瑞希ちゃん、誰とも仲良く遊びます。友達がたくさんいる子育て支援センター「すこやか」で、遊ぶことを楽しみにしています。「すこやか」では、追いかけてママゴトをしたり、大好きなトランポリンでピョンピョンと跳ねて遊んでいます。よさこいソーランがお気に入り、音楽がなると扇子を片手に元気よく踊る瑞希ちゃんでした。

人口のうごき

20. 3. 20現在	*()内は前回からの増減	
男	2,533人	(+3)
女	2,734人	(-5)
人口計	5,267人	(-2)
世帯数	1,524世帯	(-1)

震災の記録を後世に残す 地域で独自の震災記録集づくり

地域住民の震災時の体験や復興への取り組みなどを風化させることなく後世に伝えるため、各地域では独自の震災記録集を作成しています。

3月に木沢・峠地区の震災記録集「前へ」が震度7に克つ」が発刊されました。

現在、震災記録集は3つの地域(和南津、田麦山、木沢・峠地区)で、それぞれ地区や地域づくり団体を中心となつて作成されています。

お問い合わせ
木沢・峠地区(フレンドシップ木沢 阿部義夫さん)
(☎89-2426)

※千円でお譲りしています。

田麦山地区(いきいき田麦山) 桜井兵治さん
(☎89-3543)

※千円でお譲りしています。

※和南津地区(和南津公民館・わくわく和南美)では現在、発刊しておりません。



俳句 (1月) 大内迪子先生選

- 入選句
- オリオンや母逝きし夜も光りあし
節分やこの子供等が福の神
繕ひも縄綱もなく炬燵守る
思ひ出せぬ人に会釈し冬帽子
年の豆食て身ぬちの鬼浄め
靴跡に靴跡重ね雪の径
雪の原染め一村を染め夕茜
はたはたと落ちる屋根雪見一日
風邪の子を怖れる老をかなしめる
幼子に先を読まれてかるたとり
童唄遠く聞える小正月
玻璃越しの日差し明るく毛糸編む
越後だけ明日の天気図雪だるま
魚沼や全山満開雪の花
- 石坂 シゲ
岡村 佐和子
上村 たつお
喜多村 キヨ
鈴木 良仙
中沢 昭一
藤田 節子
丸山 好枝
三輪 京子
目黒 せつ
森山 菊江
山田 チヨ
渡辺 登子
佐藤 信

俳句 (田麦山小学校の閉校に寄せて)

閉校の 淋しさ深く 春にじむ
閉校の 淋しい思い深く 春の景色も涙にじむ
春の陽(ひ)に 輝く母校 ありがたう(さようなら)
遠い日に 入学(はいり)し母校 いま閉じぬ
春なのに 淋しさ募る 134(いちさんよん)
春わびし あまた集いて 母校閉じ
閉校式への参加多いと聞く。(皮肉にも)村は一番にぎやかな日となるが閉校は現実なり

佐藤 栄吉(千葉県)

訂正とお詫び

広報かわぐちお知らせ版に誤りがありました。
表面の6段目「春の火災予防運動 4月1日(日)7日(出)」は、「春の火災予防運動 4月1日(火)7日(月)」です。
訂正してお詫びします。

次会のお知らせ

4月7日(月) 生涯学習センター 13時から